

## 消費生活審議会における御意見への対応について

## 1 令和5年度第2回消費生活審議会

御意見	対応
<p>ホームページへのアクセス数が増えているということだが、その要因について何らかの分析はしているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に、若者向けキャンペーンのポスターやリーフレットにホームページのQRコードを掲載するようにしてから、若者が被害に遭いやすい悪質商法の事例や対応アドバイスを紹介するページのアクセスが増えている。それに伴い、当該ページが検索エンジンでも上位に表示されるようになり、さらにアクセスが増えたと思われる。</li> <li>今後も、リーフレットやチラシへのQRコード掲載やX(旧Twitter)の投稿にホームページへのリンクを設定するなど、工夫して情報発信をしていきたい。</li> </ul>
<p>高齢者の被害防止の啓発ポスター等の配布先に、病院やタクシー会社を加えてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と協議の上、病院及びタクシー会社に啓発活動への協力を依頼し、県内の全病院(170か所)にはポスターを、県央・県北地域のタクシー会社にはステッカー1,100枚を配布する。</li> </ul>
<p>リーフレットの内容を、高齢者自身が見て、自分がトラブルに遭うことやだまされているかもしれないということに気づくところを中心にし、まずは消費生活センターに相談に行くことにつながるようなものにしてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットの内容は東京都が作成し、共同でキャンペーンを実施する1都9県6政令指定都市で統一したデザインのものを使用している。委員から頂いた御意見は3月の担当者会議で東京都に伝えさせていただいたところ。</li> <li>リーフレットのうち、相談先の電話番号等を案内する部分は本県で作成するので、分かりやすく、相談に繋がりやすいものになるよう工夫したい。</li> </ul>
<p>高齢者の被害防止について、高齢者に啓発するだけでなく、小中高校生といった孫の世代に対しても啓発すると高齢者への啓発や見守りにつながると思うので、子供たちにもきちんと知らせていくことが大切ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターの消費者教育啓発員が高校生等を対象に出前講座を行う際は、講座の内容に高齢者の見守りを加えたところ。</li> <li>また、各消費者教育講師に対しても依頼し、高校生等を対象に行う出前講座で高齢者の見守りに関する内容を加えていただいている。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットのほかに、スマートフォンや玄関、電話の近くなど常に目につくところに貼れるようなステッカーを配布してはどうか。</li> <li>・磁石になっていると冷蔵庫に付けることができるので、いろいろと工夫してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の街頭キャンペーンから、配布する啓発物品をウェットティッシュから磁気ステッカーに変更することにした。</li> </ul>
--	--

## 2 令和5年度第3回消費生活審議会

御意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度で専門的な相談への対応について、弁護士や一級建築士の2つの専門家で十分なのか。</li> <li>・デジタル関係の相談や研修について、大学の情報関連の研究者や企業等でシステムやネットワーク管理に従事している専門家を講師やキーパーソンにすることも必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度より、デジタルの専門分野に関して、デジタル専門相談・研修会を実施し、その中で消費生活相談員等を対象にした専門研修と、デジタルに関する専門相談を実施することにした。</li> <li>・研修会は R6.5、R6.8、R6.12、R7.3 の年4回実施する予定であり、各回の講師は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①キャッシュレス決済の専門家</li> <li>②ネット通販などインターネット取引に関する専門家</li> <li>③情報セキュリティなど情報処理の専門家</li> <li>④インターネットなど電気通信サービスの専門家</li> </ul> </li> </ul>
<p>アクションプランのSDGsマークがたくさんあり主なものがわかりにくい。典型的なもの2～3つに絞ったほうがよいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行のアクションプランでは、5つの基本方針ごとに、それぞれ施策に関連するSDGsマークを掲載しているところ。次期プランにおいては、例えば、関連するSDGsマークを基本方針ごとに分けずにまとめて掲載する、典型的なものを掲載するなど、より分かりやすくなるよう検討していく。</li> </ul>
<p>エシカル消費という言葉の認知度だけでなく、具体的な行動を進めることが重要だと思うので、そういった観点で何らかの施策が行えないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費の現場でエシカル消費につながる具体的な行動を促す手法として、スーパーでのポップの掲出に加えて、令和6年度より新たに「地産地消」を主としたポスターを作成し啓発を行う予定である。ポスターは、地元の農産物や加工食品等を取り扱う道の駅への配布を計画しており、事業の効果を踏まえてより有効な啓発方法を検討していく。</li> </ul>